

## 第2回町政懇談会のご意見・ご提言をご紹介します

町では、町民の皆様の率直なご意見ご提言等をお伺いするため、昨年秋に第2回町政懇談会を開催しました。町内16会場で全18回開催し、延べ346人の皆様にご参加をいただきました。ご参加いただきました皆様へ心から感謝申し上げます。

今回の町政懇談会では、町政全般について町民の皆様と率直な意見交換をさせていただきましたので、そのご意見・ご提言の一部をご紹介します。

町では、今後も皆様からお寄せいただく声を大切に、町民ファーストの町政運営に努めてまいります。



### 各会場でのご意見・ご提言

#### 役場庁舎整備に関するご意見・ご提言

- ▶ 町内に頑丈な建物が少ないので、防災面からみると木造の庁舎整備はどうか。
- ▶ 庁舎整備の住民説明会に出られなかった。これまでの流れを説明してほしい。
- ▶ 現位置への新築が良いと思う。強引にでもやった方が良いと思う。
- ▶ 庁舎整備は今の場所は地盤が弱い。駐車場の問題もある。町民の意見を聞いて取り組んで欲しい。
- ▶ 庁舎整備は止めるべき。その金を産業振興に使うべき。

#### 水道事業に関するご意見・ご提言

- ▶ 災害があって丘の上で漏水したらどれだけ損失が出るのか。自分たちが異常なことをやっていることに気づいてほしい。
- ▶ 水道問題について、根強い不信感があると思う。
- ▶ 別所の水をミューズパークに上げて小鹿野が使うということは決まっている。取水をもっと上流からするべきだ。水源の利用の仕方が間違っていないのか。
- ▶ 議会の決議は重いと思う。水道料金の値上げはしないで欲しい。

#### 消防防災・安心安全に関するご意見・ご提言

- ▶ 避難準備のとき地区担当の職員と連絡を取りあえるような体制になると良い。
- ▶ 小鹿野町は安心安全メールの配信が遅いような気がする。他(市町)が出てから少し遅れて小鹿野町が出る。
- ▶ 避難の放送があったことは皆知っている。一人では避難したくないという人も多い。地区で状況が違うから、(事前に)話し合っって意識を高めることが大事。
- ▶ 防災ラジオがうるさくて電源を抜いている人がいる。早くデジタル化を進めてほしい。
- ▶ 消防団特別点検で、放水点検をどうしてやらないのか。放水点検を楽しみにしている人もいます。新しいポンプも入っていると思うので、ぜひやってもらいたい。
- ▶ 台風の時に小鹿野の避難所まで行けない。地域をよくわかっている人が指示を出

さない。出て行って災害に遭うことも考えられる。

#### 子育て支援に関するご意見・ご提言

- ▶ 町は子育てや母子保健について力を入れていただいている。給食の無償化や就学費の助成など教育にも力を入れていただいていると感じる。子供達に投資するのは、将来を考えた時には無駄ではないと思う。
- ▶ 通学定期券購入費助成事業は、公共機関を利用しないと補助金が出ない。オートバイで通学している子と比べて不公平感はないか。
- ▶ 親が子育てを学習できるような取組や講演会を増やしてあげたら良い。子育てを楽に思えるまちづくりが必要かと思う。
- ▶ 子育て支援を具体的にやってもらいたい。子育て世代が残業や休日出勤などで子育てに支障がある。社会全体でフォローできる仕組みを作って欲しい。

#### 産業・観光に関するご意見・ご提言

- ▶ 町村合併をして、福祉は成長していると思うが、観光施設が衰退していくように感じている。
- ▶ グリア園への行き方を聞かれるが、誰でも簡単に案内できるようなものがあれば良いと思う。
- ▶ おがの化石館のさらなる発展をお願いしたい。オウムガイの発見もあるので、これから化石館が一つの要になるのではないか。
- ▶ 鳥獣害対策について、各市町村によって温度差がある。鳥獣害対策を真剣に考えないと観光面や移住促進面にも影響が出る。
- ▶ 観光で来町した人は地図がないので、場所が分からないという話を聞く。大きな地図を役場前あたりに整備できないか。
- ▶ 農業と観光の振興に力を入れてもらいたい。
- ▶ (町内に)良い山がいっぱいある。柿やシイタケ、えごまなど特産品もいっぱいあるので加工して商品化するなど、農業・林業・観光を推進したらどうか。
- ▶ 会社や工場の誘致について若者の仕事場が少ない。企業への説明に災害に強い場

所であることを宣伝してほしい。

#### その他町政全般に関するご意見・ご提言

- ▶ (移住者は)町の良いものを見て移住して来ている。幸せになるための生き方がいろいろあり、いろいろな生き方ができる多様性のある町にしたら町が活性化できると思う。衣食住はすごく大事で、住むというところが小鹿野町はちょっと弱いのではないか。
- ▶ 日尾城、塩沢城は樹木が茂り景観が悪化している。文化財の指定があるところは景観を取り戻したい。
- ▶ 旧三田川中学校の今後の利用を聞きたい。町には文化財がたくさんあるのでグリアや氷柱などと併せて文化財を見ていただくことも良いのではないか。
- ▶ 勉強ばかりが頭の良い子に育つわけではない。町で面白い授業に取り組んで欲しい。いろいろな授業があっても良いと思う。
- ▶ 長尾根トンネルができれば秩父市も皆野寄居有料道路へのアクセス面で便利になる。小鹿野町も住みやすくなり通勤環境も良くなって若い人が町から出ていなくなる。本腰を入れて取り組んでもらいたい。
- ▶ 道路脇の擁壁などに草が茂り景観が悪い。
- ▶ 町では柿の苗を補助してあんぼ柿の普及に取り組んでいる。旧長若中学校をあんぼ柿の加工場にしてはどうか?
- ▶ 秩父郡市内では病床を減らす方向のようにだが、小鹿野町はどうか? 県内唯一の町立病院。病院の有無が町民に与える影響は大きいので真剣に検討してほしい。
- ▶ 自学ノートについて使いにくいという話をよく聞く。内容よりやった冊数に重点が置かれていてそれで良いのか疑問である。
- ▶ 町民がうまく使えるように廃校を利用してきたらと思う。能力のあるお母さんたちは子育てを機に第一線を退くことが多いので、そういった方たちが集まって新たな事業ができるスペースにしても良いのではないだろうか。
- ▶ 歌舞伎を年中見ることができるといふ施設があれば。

## アンケート実施結果(抜粋)

アンケート回答者数 130人 ※小鹿野町職員及び議員を除く

### 問 年齢をお聞かせください

	回答数	構成比
20代	0	0.0%
30代	3	2.3%
40代	5	3.8%
50代	9	6.9%
60代	66	50.8%
70代	38	29.2%
80代以上	9	6.9%
	130	100%

### 問 性別をお聞かせください

	回答数	構成比
男性	107	82.3%
女性	22	16.9%
無回答	1	0.8%
	130	100%

### 問 町政懇談会はいかがでしたか

	回答数	構成比
満足	48	36.9%
やや満足	54	41.5%
やや不満	7	5.4%
不満	0	0.0%
無回答	21	16.2%
	130	100%

※ご意見・ご提言内容については、要約して掲載いたしました。また、紙面の都合上、すべてのご意見・ご提言を掲載することはできませんので、ご了承ください。

### 町政懇談会参加者感想

- ▶ 資料提示があり、わかりやすかった。ただ専門用語があり、わかりにくい面もあった。
- ▶ 活発な意見を聞くことができた。
- ▶ 町政の推進状況がよく理解できた。
- ▶ いろんな意見が聞けて良かった。よい懇談会ができたと思う。
- ▶ 行政について知ることができた。疑問に対する説明を聞き理解できた。
- ▶ 毎年やるべき。町のことがよくわかる。
- ▶ 資料を前もって配布してもらえば検討できるが当日では難しい。
- ▶ 個人的な不満の発言の場のようにも思う。自分でもっとやれよと言いたい。すべてを人に頼るといふか、町へ頼む若い人の多いのに驚いた。
- ▶ 世間話のように出来て良かった。
- ▶ 「こんなこと話して良かったのかな?」という話も真摯に受けていただいた。
- ▶ 努力はするが期待はしないでくれという感じがする。
- ▶ 住民の意見を聞くという姿勢が良い。継続して行ってほしい。極力参加していきたい。
- ▶ 町もいろいろ考えてくれており、これからも検討してくれるという話を聞き安心した。

## お寄せいただいた自由提言の内容

- ▶ 小鹿野から秩父へ、秩父から飯能や滑川、寄居、東松山、坂戸などに引っ越す。それは仕事がないから。小鹿野にUターンさせるため、小鹿野から通える道路が必要である。
- ▶ 小鹿野に脳外科病院とそれに伴うリハビリセンターを作ってほしい。
- ▶ 各戸へ設置してある防災ラジオから雑音が出るので電源を入れておけない。防災上使用出来る方法にしてほしい。
- ▶ 子供の生きる力を育む教育をしてほしい。
- ▶ 新しい役場庁舎は、現在の場所を作るように進めてもらいたい。
- ▶ 若者が住める町(職がないと生活できない)を作ってください。知恵を出して若者が定着、また帰って来てくれる町をぜひ作ってください。
- ▶ 携帯電話(スマホ)の接続が今よりも良くなるようにお願いしたい。
- ▶ 議員報酬を増額し定数を削減されたい。質の高い議員が期待されるため。
- ▶ 長尾根トンネル実現させたい。どれだけの人が毎日苦勞をしているか…。
- ▶ 防災行政放送で亡くなった人の知らせは要らない。生まれた知らせをしないのに。町外の人にも不思議がっている。防災や不審者の情報だけでいい。

問合せ●小鹿野庁舎・総務課 ☎75-1221

## 町長と語るまちづくり懇談会

12月14日に小鹿野中学校生徒会主催による、「町長と語るまちづくり懇談会」が行われました。

生徒会の皆さんは、自ら作成した活動指針である「鹿中生によるまちづくりプラン」や、事前に全校生徒から集めた意見を説明しました。自分達がどのようにまちづくりに関わりたいか、町にどのようなことをしてほしいかなど、積極的に町長に伝えました。



- 中学生からの意見・提言は、主に以下のとおりです。
- 月に一度、町の人と一緒にあいさつ運動をすることにより、まちを明るくしたい。(町民明るいあいさつ運動)
- 鹿中生による観光施設などのボランティア清掃で町内外の人達に気持ちよく過ごしてほしい。
- 鉢花を役場などの施設に置いて華やかに彩りたい。鹿中生が水やりに来ることでコミュニケーションも取れる。
- 部活等で使用するランニングコースを整備してほしい。
- 体育館が寒いので暖房設備を充実してほしい。
- ショッピングモールをつくらしてほしい。

問合せ●小鹿野庁舎・総合政策課 ☎75-1238